

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地			
MCL盛岡ペットワールド専門学校		平成16年9月21日		龍澤 尚孝		〒 020-0034 (住所) 岩手県盛岡市盛岡駅前通10-16 (電話) 019-604-1151			
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地			
学校法人龍澤学園		昭和38年3月14日		龍澤 尚孝		〒 020-0025 (住所) 岩手県盛岡市大沢川原3丁目4-1 (電話) 019-622-6357			
分野	認定課程名		認定学科名		専門士認定年度	高度専門士認定年度	職業実践専門課程認定年度		
文化・教養	文化教養専門課程		動物飼育科		平成26(2014)年度	-	平成26(2014)年度		
学科の目的	ペットショップが多様化になり、生体販売だけではなくペット保険・各種フード・トリミングサービス等幅広いサービスが求められるようになってきている。愛玩動物飼養管理士に則った専門知識に加え、ペットショップスタッフとして必要なペットの飼育法・接客対応・ペットショップ系事業所を想定した実習・演習を行うことで、人間性・社会性を兼ね備えた即戦力となる人材の育成をする。また、動物園や水族館の飼育員として、多種多様な生物の飼育管理をしながら、動物の福祉を考えられ、人に対しての質の高いサービスを提供できる人材を育成する。								
学科の特徴(取得可能な資格、中退率等)	多種多様な生物をお世話する機会があるため様々な動物たちの生態や飼育方法、管理方法を把握し理解する。動物たちがその種らしく、安心し、健康的に暮らしていくために必要な知識と技術を習得する。また、飼い主様との円滑なコミュニケーションを取る方法も学ぶ。取得できる資格は、愛玩動物飼養管理士、家庭動物管理士、潜水士、生物分類技能検定、損害保険募集人資格、学校認定動物アドバイザーライセンス、学校認定接客教養ライセンスがある。								
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数		講義	演習	実習	実験	実技	
2年	昼間	※単位時間、単位いずれかに記入		1,710 単位時間	690 単位時間	0 単位時間	1,020 単位時間	0 単位時間	
				単位	単位	単位	単位	単位	
生徒総定員	生徒実員(A)		留学生数(生徒実員の内数)(B)		留学生割合(B/A)				
20 人	21 人		0 人		0 %				
就職等の状況	■卒業者数(C)		7 人						
	■就職希望者数(D)		7 人						
	■就職者数(E)		3 人						
	■地元就職者数(F)		3 人						
	■就職率(E/D)		43 %						
	■就職者に占める地元就職者の割合(F/E)		100 %						
	■卒業者に占める就職者の割合(E/C)		43 %						
	■進学者数		0 人						
	■その他								
		(令和 5 年度卒業者に関する令和4年5月1日時点の情報)							
		■主な就職先、業界等							
		(令和5年度卒業生)							
		株式会社 AHB サンペット八戸尻内店 サンペットみたけ店							
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: ※有の場合、例えば以下について任意記載				無				
		評価団体:		受審年月:		評価結果を掲載したホームページURL			
当該学科のホームページURL	https://wanco.ac.jp/course_breeding/								
企業等と連携した実習等の実施状況(A、Bいずれかに記入)	(A:単位時間による算定)								
	総授業時数				1,710 単位時間				
	うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数				393 単位時間				
	うち企業等と連携した演習の授業時数				0 単位時間				
	うち必修授業時数				1,710 単位時間				
	うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数				393 単位時間				
	うち企業等と連携した必修の演習の授業時数				0 単位時間				
	(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)				320 単位時間				
	(B:単位数による算定)								
	総授業時数				単位				
うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数				単位					
うち企業等と連携した演習の授業時数				単位					
うち必修授業時数				単位					
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数				単位					
うち企業等と連携した必修の演習の授業時数				単位					
(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)				単位					
教員の属性(専任教員について記入)	① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者(専修学校設置基準第41条第1項第1号)				3 人				
	② 学士の学位を有する者等(専修学校設置基準第41条第1項第2号)				2 人				
	③ 高等学校教諭等経験者(専修学校設置基準第41条第1項第3号)				0 人				
	④ 修士の学位又は専門職学位(専修学校設置基準第41条第1項第4号)				0 人				
	⑤ その他(専修学校設置基準第41条第1項第5号)				2 人				
	計				7 人				
	上記①～⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定)の数				4 人				

1.「専攻分野に関する企業、団体等（以下「企業等」という。）との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

教育課程の編成を行うにあたり事業所等と連携する上では、本校の「人と動物のより良い関係づくり」という教育理念を理解いただき、次代を担う人材の育成を事業所等と学校が一緒に行っていくことに賛同いただける事業所等と連携することを基本方針とする。学生が、就業先の事業所等において即戦力となり、将来的には業界の発展に寄与できる力を身につけるために、事業所等から最新の動物業界の状況や今後の動向、またペットショップスタッフ実務において必要とされる小動物管理・接客技術・経営知能等に関する情報を提供いただき、これを定期的に職員会に諮り、学生の実態も合わせて考慮しながら、より効果的な教育課程の編成を検討していく。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

委員会の審議内容は、同年度内に、本校の職員、学校運営委員会、MCL事業本部での審議を図り、最終的には、理事長の承認を得て次年度のカリキュラムを決定することとする。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和6年4月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
佐々木 一弥	一般社団法人 岩手県獣医師会 会長	令和6年4月1日～令和8年3月31日(2年)	①
片山 泰章	岩手大学農学部付属動物病院 病院長	令和6年4月1日～令和8年3月31日(2年)	②
辻本 恒徳	盛岡市動物公園 ZOOMO 園長	令和6年4月1日～令和8年3月31日(2年)	③
穴戸 智	緑が丘動物病院 院長	令和6年4月1日～令和8年3月31日(2年)	③
龍澤 尚孝	MCL盛岡ペットワールド専門学校 校長	令和6年4月1日～令和8年3月31日(2年)	—
三上 祐太	MCL盛岡ペットワールド専門学校 校長代理	令和6年4月1日～令和8年3月31日(2年)	—
市村 香織	MCL盛岡ペットワールド専門学校 教員	令和6年4月1日～令和8年3月31日(2年)	—
平元 尚人	MCL盛岡ペットワールド専門学校 教員	令和4年4月1日～令和5年3月31日(2年)	—

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「—」を記載してください。)

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (8月、3月)

(開催日時(実績))

令和5年度第1回 令和5年8月 2日 15:00～16:00

令和5年度第2回 令和6年3月15日 15:00～16:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

ペットショップで販売員として働くうえで、現状および今後必要となるスキルに関するアドバイスをいただき、「動物飼養管理総論Ⅰ」、「動物飼養管理総論Ⅱ」、「ペットショップ実践学」の授業においてしつけなどの実践スキルを高められるよう授業の内容に反映させ、ペットショップで働くうえで今後必要となる内容まで含めて指導を行う。また、飼い主様とのやり取りの中で動物に関する技術のみならず、人間力・対応力の向上も必要となるため、接客能力・事務能力に関してアドバイスいただき、「インターンシップ実習Ⅰ」、「インターンシップ実習Ⅱ」、「ペットビジネス教養Ⅰ」、「ペットビジネス教養Ⅱ」の授業内容に反映させている。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

より専門性の高い動物看護師を育成するため、学生本人の出身地域や就職希望地域も考慮に入れ、学校内での学びが現場でどのように生きてくるのかを経験させたいという本校の目的を理解して指導にあたっていただける事業所を選定。現場で必要な接客マナーを身に付け、接客技術・衛生管理方法・危機管理方法を理解すると同時に仕事をする喜びややりがいを学ぶことを目的（基本方針）とする。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

動物分野における実践的な職業教育として動物関連企業や動物病院と契約を締結し、実践的な技術の習得やペットライフの質の向上による地域活性化を目的として連携している。企業および病院より直接的に学生に対して指導いただくとともにアンケートを実施し学修成果の評価について連携を行っている。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
インターンシップ実習Ⅰ	現場で必要な接客マナーを身に付け、接客技術・衛生管理方法・危機管理方法を理解すると同時に仕事をする喜びややりがいを学ぶことを目的とする。事前に学校内での座学で目的意識を高めたうえで、岩手県内・県外（おもに東北地区）の動物関連事業所において、実習を行う。	株式会社もりおかパークマネジメント、岩手サファリパーク、ペットプラス盛岡、zoomore八戸店、ペットセンター上堂を含む20事業所
インターンシップ実習Ⅱ	1年次終了実習での課題や反省を活かし、2年次実習では自ら気づき・考え動くことを目標とする。学校内での既習実習を踏まえて、現場で起こりうる危機管理等にも目を向け、より高い技術を学び実務経験を積むことで即戦力となる人材を育成する。	株式会社もりおかパークマネジメント、岩手サファリパーク、ペットプラス盛岡、zoomore八戸店、ペットセンター上堂を含む20事業所
ペットビジネス教養Ⅰ	地元の企業と連携し、ペット参加型イベントの企画・運営を行う。動物との共生をサポートする上での知識・技術を活かし、物事を作り上げる喜びや運営上の難しさを学ぶと同時に、将来必要になる行動力・判断力・気配り・臨機応変に対応する力を学ぶ。	岩手県スポーツ振興事業団
ペットビジネス教養Ⅱ	地元の企業と連携し、ペット参加型イベントの企画・運営を行う。 ペットビジネス教養Ⅰで行ったイベント企画経験を応用し、よりお客様に満足していただける企画とサービスを提供する。同じ想いを持った仲間とひとつのことを作り上げることでチームワークを磨くと同時に、犬をコントロールする・一緒に楽しむことを飼い主さんに伝える技術も習得する。	岩手県スポーツ振興事業団

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係		
(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針 本校・本学科の教員として必要な知識・技術・技能や授業及び学生への指導力について計画的に教育し向上させることを目的に、校内・校外において実施される研修等への参加機会を積極的に設けることを「盛岡ペットワールド専門学校 研修等規程」により定め、組織的に取り組んでいく。		
(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針 ※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記 本校・本学科の教員として必要な知識・技術・技能や授業及び学生への指導力について計画的に教育し向上させることを目的に、校内・校外において実施される研修等への参加機会を積極的に設けることを「盛岡ペットワールド専門学校 研修等規程」により定め、組織的に取り組んでいく。		
(2)研修等の実績		
①専攻分野における実務に関する研修等		
研修名:	アニマルファンシィアーズクラブ研修	連携企業等: アニマルファンシィアーズクラブ
期間:	令和5年11月16日～11月17日	対象: 1年生
内容	犬のトレーニング、ハンドリング、アジリティ	
研修名:	盛岡市動物公園の見学	連携企業等: 盛岡市動物公園ZOOMO
期間:	令和5年7月25日	対象: 2年生
内容	動物園の見学 動物福祉の理解を深める	
研修名:	インターペット2023見学	連携企業等: メッセフランクフルトジャパン(株)
期間:	令和5年3月31日～4月1日	対象: 2年生
内容	人とペットの豊かな暮らしフェア参加	
②指導力の修得・向上のための研修等		
研修名:	職員研修	連携企業等: 岩泉 美和子 先生
期間:	令和5年9月2日	対象: 職員
内容	アサーティブコミュニケーション	
研修名:	職員研修	連携企業等: 岩泉 美和子 先生
期間:	令和5年10月7日	対象: 職員
内容	傾聴	
研修名:	職員研修	連携企業等: 岩泉 美和子 先生
期間:	令和5年11月11日	対象: 職員
内容	コーチング法の基礎	

(3) 研修等の計画		
① 専攻分野における実務に関する研修等		
研修名: インターペット2024見学	連携企業等: メッセフランクフルトジャパン株式会社	
期間: 令和6年4月5日	対象: 2年生	
内容: インターペット2024の見学		
研修名: アニマルファンシィアーズクラブ研修	連携企業等: アニマルファンシィアーズクラブ	
期間: 令和6年11月17日～18日	対象: 1年生	
内容: 犬のトレーニング、ハンドリング、アジリティ		
研修名: 盛岡市動物公園の見学	連携企業等: 盛岡市動物公園ZOOMO	
期間: 45398	対象: 1年生	
内容: 動物公園の見学 動物福祉について理解を深める		
② 指導力の修得・向上のための研修等		
研修名: アンガーマネジメント	連携企業等: 岩泉 美和子 先生	
期間: 令和6年10月5日	対象: 職員	
内容: 感情とうまく付き合う方法を知る		
研修名: メンタルヘルスマネジメント	連携企業等: 岩泉 美和子 先生	
期間: 令和6年11月9日	対象: 職員	
内容: 自らのストレスに対処する方法を知る		
研修名: 傾聴	連携企業等: 岩泉 美和子 先生	
期間: 令和6年12月14日	対象: 職員	
内容: 相手に寄り添った聴き方を身につける		

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

学校関係者として事業所等から参画いただいた委員を含む学校関係者評価委員会を設置。各委員の実務に関する知見を活かした視点で、教育目標や教育環境等についての「自己点検・評価」結果に基づく評価を実施し、その評価結果を学校運営会における改善事項の提案に反映したうえで学校運営会や職員会において検討する。これを定期的に行うことにより、「地域で必要とされる人材の育成」のための教育の質の向上、学生支援、卒後支援、社会活動等の充実とともに、健全かつ安定した学校運営を図ることを基本方針とする。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	1. 建学の精神・教育理念、教育目的・目標
(2)学校運営	7. 管理運営(各校)、8. 管理運営(法人)
(3)教育活動	2. 教育の内容
(4)学修成果	4. 教育目標の達成度と教育効果
(5)学生支援	5. 学生支援
(6)教育環境	3. 教育の実施体制
(7)学生の受入れ募集	5. 学生支援
(8)財務	8. 管理運営(法人)
(9)法令等の遵守	8. 管理運営(法人)、9. 改革・改善
(10)社会貢献・地域貢献	6. 社会的活動
(11)国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

学校関係者評価委員会の意見については、次年度の教育活動その他の学校運営の改善等に活用することで具体的な検討を始めている。

動物飼育科では、外部委員から、インターンシップ実習における学生の目標について、より明確化すべきと意見をいただき、多種多様の生態を扱うペットショップで、何の種類について、何を学びたいのか、具体的に目標を定めて、実習に取り組むように指導する。また、避難訓練についても、より実際に近い「動物の同行避難」を実施する体制を確立するために必要な事項を整理し、マニュアル化を進めている。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名 前	所 属	任期	種別
佐々木 一弥	一般社団法人岩手県獣医師会 会長	令和6年4月1日～令和8年3月31日(2年)	企業等委員
小田島 舞	エルどうぶつクリニック 愛玩動物看護師	令和6年4月1日～令和8年3月31日(2年)	卒業生
宇津野 麻衣子	盛岡市動物公園 ZOOMO 飼育員	令和6年4月1日～令和8年3月31日(2年)	卒業生

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

URL: <https://mclnet.jp/information/>
公表時期: 令和6年7月31日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

教育の質の保証・向上のためにも、関係事業所等から本校の教育活動への理解、協力を得られるよう、教育活動その他の学校運営の状況等について、ホームページや学校案内等で広く情報を提供していく。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	募集要項「盛岡ペットワールド専門学校の概要」 学校案内「年間スケジュール」
(2)各学科等の教育	学校ホームページ「学科紹介」、学校案内「学科紹介」
(3)教職員	学校案内「職員紹介」
(4)キャリア教育・実践的職業教育	学校案内「実践授業紹介」「就職サポートシステム」
(5)様々な教育活動・教育環境	学校案内「校外活動」「学科紹介」 学校ホームページ「学生生活」
(6)学生の生活支援	募集要項「指定寮について」 学校案内「MCL一人暮らしガイドブック」
(7)学生納付金・修学支援	募集要項「学費サポート」
(8)学校の財務	グループホームページ「MCL専門学校グループとは 財務情報」
(9)学校評価	学校ホームページ「自己点検・学校関係者評価」
(10)国際連携の状況	
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ・)広報誌等の刊行物・その他()

URL: 情報公開 》 MCL専門学校グループ - 6校33学科38コースの総合専門学校グループ (mclnet.jp)
公表時期: 令和6年7月31日

授業科目等の概要

#REF!	分類			授業科目名	授業科目概要	配 当 年 次 ・ 学 期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企 業 等 と の 連 携
	必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
1	○			動物飼養管理 総論Ⅰ	動物業界で活躍する上で必須となる動物の飼育法・健康管理等の知識・技術を学校動物の飼育を通して実践し習得する。また愛玩動物飼養管理士の資格取得のため、講義・問題演習等を行う。	1 通	150		○		△	○		○		
2	○			動物看護学Ⅰ	実際の仕事に結び付けながら、現場で活かせる犬の健康管理や動物の病気などを座学を通して学ぶ。	1 通	20		○		△	○		○		
3	○			グルーミング学Ⅰ	犬のシャンプーケアを通して、日頃の健康管理を行える人材を目指す。シャンプーの手順を理論から学び、簡単なお手入れケアができる技術を学ぶ。	1 通	150		△		○	○		○	○	
4	○			しつけトレーニング学Ⅰ	座学を通して犬の行動や学習理論等を学び、それを踏まえ実践実習で犬のコントロール・管理法・トレーニング法を習得する。また、飼い主さんへの説明力と様々な犬や人に対応する柔軟性を身に付ける。	1 通	130		△		○	○		○	○	
5	○			ペットショップ実践学	実際の仕事に結び付けながら、現場で活かせるペットショップスタッフ、飼育員技能を学ぶ。	1 通	170		△		○	○		○		
6	○			インターン シップ実習Ⅰ	学校での教養授業を生かし、動物関連企業と連携してインターンシップ実習を行う。現場における事業主とのやり取り・指示の受け方、また飼い主さんとの対応を学び、現場で必要な社会人基礎戦力を習得する。	1 集 中	140				○	○		○	○	
7	○			動物飼養管理 総論Ⅱ	動物業界で活躍する上で必須となる動物の飼育法・健康管理等の知識・技術を学校動物の飼育を通して実践し習得する。また1年生への飼育指導を通して、後輩への指導力を育成する。	2 通	50		○		△	○		○		
8	○			動物看護学Ⅱ	実際の仕事に結び付けながら、現場で活かせる犬の健康管理や動物の病気などを座学を通して学ぶ。	2 通	50		○		△	○		○	○	
9	○			グルーミング学Ⅱ	犬のシャンプーケアを通して、日頃の健康管理を行える人材を目指す。グルーミング学Ⅰの応用として、少ない人数で1頭のシャンプー実習を行える技術を取得する。	2 通	150		△		○	○			○	
10	○			しつけトレーニング学Ⅱ	しつけトレーニング学Ⅰを応用し、1頭の犬をトレーニングし犬をしつける技術を習得する。また、犬の問題行動に対する知識を学び、飼い主さんと犬に合わせた対処の仕方を提案する技術を習得する。	2 通	60		△		○	○		○	○	
11	○			ペットショップ実践学	実際の仕事に結び付けながら、現場で活かせるペットショップスタッフ、飼育員技能を学ぶ。	2 通	210		△		○	○		○		
12	○			インターン シップ実習Ⅱ	企業と連携してインターンシップ実習を行う。1年次からの応用として、自ら気づき・考え動くことを目標とし、現場で起こりうる危機管理も学ぶ。	2 集 中	180				○	○			○	○
13	○			ペットビジネス教養Ⅰ	地元企業と連携をし、ペット参加型イベントの企画から準備・当日の運営までを経験する。物事を作り上げる難しさや人と関わる喜びを学ぶ。同時に社会人教養・一般基礎知識も学び、幅広い分野で活躍できる必要要素を習得する。	1 通	150				○	○	○	○	○	○
14	○			ペットビジネス教養Ⅱ	地元企業と連携をし、ペット参加型イベントの企画から準備・当日の運営までを経験する。1年次からの集大成として、より高度な接客対応・配慮・危機管理能力を磨く。同時に社会人教養・一般基礎知識も学び、幅広い分野で活躍できる必要要素を習得する。	2 通	100				○	○	○	○	○	○
合計					14 科目	1710 単位（単位時間）										

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件：出席日数が年間必要な日数の9割以上であり、評価された科目の最終		1 学年の学期区分	2 期
履修方法：必修科目は、学科在籍者全員が履修する。		1 学期の授業期間	15 週
（留意事項）			
1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。			
2 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。			